

令和4年度第4回坂井市地域公共交通会議 会議録

開催日時 令和5年3月23日(木)午後1時30分～
場 所 坂井市役所防災対策本部室
出席者 三寺会長
住民代表: 木村委員、高岡委員、内田委員、正藤委員、内藤委員
関係機関: 下平委員、堤委員(代理:川崎氏)、山本豊委員、山本寛委員、
吉川委員、江川委員、関委員、島田委員
事業者: 佐々木委員(代理:吉田氏)、小林委員、矢部委員、松田委員
関係部署: 千秋委員(代理:井上氏)、八杉委員、稲葉委員 計21名
欠席者 住民代表: 佐藤委員、加藤委員
関係機関: 源藤委員
関係部署: 中田委員 計4名
事務局 総合政策部・西部長、公共交通対策課・長谷川課長、廣部、平尾、藤田
観光交流課・谷根課長、吉田

1. 開会

<事務局>

異動等による交代委員の紹介(小林委員、山本豊委員、山本寛委員)
委員出席状況・会議成立を報告(21/25人出席)

2. 会長あいさつ

3. 協議事項

(1)「陣ヶ岡線の廃止について」(資料1)

<京福バス> (資料1に沿って説明)

1. 概要:陣ヶ岡線の廃止
2. 変更予定日:令和5年4月30日(日)
3. 理由:当該路線は沿線の小学校の通学利用が主であったが、昨年4月に当該地区の通学輸送をスクールバス化したことにより、当該路線利用者の大半の輸送手段が転化されたこと、また、現在の利用者については、代替路線で転化可能であるため。

実態調査により、高頻度で乗車されている方に事前の説明済み。また、沿線地区区長への概要説明済み。理解を得られている。

<会長>

利用者は何名ほどか。

<京福バス>

9月頃からの調査では1日1名程度。

<委員>

陣ヶ岡線の路線に松島水族館の停留所があるが、東尋坊線では松島水族館には行けるのか。

<京福バス>

可能である。(別の議案の資料だが「資料3」に添付している路線図に掲載あり)

【質疑以上】

【異議なしにつき、協議事項承認】

(2)「鶉三国線日祝デマンド運行の廃止について」(資料2)

<京福バス> (資料2に沿って説明)

1. 概要:鶉三国線の日曜日、祝日のデマンド運行(予約運行)便の廃止
(平日および土曜日は現行ダイヤを継続)
2. 変更予定日:令和5年3月31日(金)
3. 理由:利用実績が極めて少ないため

利用者は、実質1名が月に2~3度ご利用いただいている現状。この方へも事前説明し、了承いただいている。

【質疑なし】

【異議なしにつき、協議事項承認】

(3)「竹田乗合タクシー停留所の変更等について」(資料3)

<ケイカン交通> (資料3に沿って説明)

1. 概要:

①停留所の新設

新設停留所名「丸岡温泉たけくらべ前」 坂井市丸岡町山竹田88-8地先

②停留所名の変更

変更内容 ・「たけくらべ前」停留所を「ご番所」に変更

・「竹田農協前」停留所を「ちくちくぼんぼん前」に変更

2. 実施予定日： 令和5年6月1日(木)

3. 理由： 地元自治会及び(一社)竹田文化共栄会よりの要望を受け、お客様の利便性向上を図るため。

停留所の時刻について、丸岡バスターミナル発及び竹田発の時刻には変更なく、「たけくらべ前」という停留所が追加となるのみ。

<委員>

地区の方からの要望に対応されるということで、良い取り組みだと思う

<DMO さかい観光局>

観光客に対するわかりやすさということでも適当だと考えられる。

【質疑以上】

【異議なしにつき、協議事項承認】

4. 報告事項

(1)「オンデマンド型交通運行実績について」(資料4)

<事務局> (資料4に沿って説明)

<会長>

電話登録者が非常に多いということだが、アプリへの移行案内や誘導は考えているか。

<事務局>

積極的に行っていききたい。実証実験でも最初は電話が約 9 割だったが、1 年後にはアプリ予約数が伸びた。潜在的にはアプリへの移行が可能と考えている。引き続き、地域の説明会で促していく。先般、使い方に関する動画を作成し、配信開始したが、電話での予約を趣旨としているため、次はアプリによる申し込みの動画を作っていきたい。

<福井県交通まちづくり課>

利用目的を把握されているか。また、予約は往復同時に予約するのか、帰りは帰りで別に予約するのか。帰りの予約は不便だという話を他の市町で聞いたが、予約に関する工夫点について何かあれば聞きたい。

<事務局>

二つの質問とも、これまでの経験値での回答となるが、まず、坂井市では高齢者の通院と買い物に特化した交通にするということで始めているため、病院や商店に重点を置いて停留所設置しており、現状の乗降もおそらくそこが多いと推測する。予約については、行きの予約の際に帰りの分も一緒に予約されることをお勧めしている。病院に関しては診察時間が長引くことが想定されるため、なるべく余裕をもって帰りの予約をしていただき、万が一予約の時間を過ぎた場合にはキャンセルの連絡をお願いしている。

<委員>

利用者が非常に増えたとは言いつつ、坂井市の人口からいうと 3%にも満たないという状況だが、利用登録者の目標値は。利用者数が増えれば増えるだけオペレーションの問題が出てくると思うが、今のオペレーションのキャパシティは登録者数がどの程度と事務局は考えているのか。

<事務局>

利用者数については、コミバスの接続ルートに代えてデマンド交通を始めている経緯から、接続ルートの年間乗車数 16,000 人の 3 割増しの約 20,000 人を目指している。利用者数を伸ばすためには登録者をたくさん増やすべきと考えられるが、登録者については具体的な目標値は持ち合わせていない。オペレーションについては、現在、8 台で市内を回っているが、この利用人数でオペレーションに苦慮しているという現状はない。これが利用者 20,000 人規模になれば、込み合う時間帯や曜日によっては苦慮する場面があるかもしれないと予測しており、最終的に台数を 12 台までは確保したいと考えている。

<会長>

随時監視しながら対応を図ってほしい。

そのほか、10 代の利用もわずかに見受けられるが、情報発信はしているのか。

<事務局>

高校生に向けた PR はできている状況ではない。8 時から 17 時の運行のため、通学にはなじまないと考えている。一方で、実績では 10 代の利用も見受けられる。学校が早く終わった日に利用されていると思われる。今後動向を調査しつつ、必要であれば高校の方にも周知を強化していく。

<委員>

免許返納との関係について。アンケートなどと組み合わせて、警察と協力して返納の促進ができるのではないかと考えている。もしインセンティブをつけるとすれば、病院との連携は難しいが、買い物での割引など。利用者については、私も意外と乗っているなど感じている。私の周辺では非常

に認知度は高く、これから高齢者中心にもっと伸びるのではないか。また、目標値に関して、交通弱者の定義が難しいが、例えば一定年齢以上の人口と何らかの事情で免許を持ってない人の人数が何かの方法で出せるとすれば、その層のカバー率から目標値を求める方法もあると考えられる。と同時に、そういう層に重点的にアプローチするのが効果的ではないか。

<事務局>

免許返納者については、本人申請によらなければ把握できないという現状である。個人情報との兼ね合いもあり、把握するのは難しい一面がある。一方で説明会での会話の中でも、「これで今後免許返納ができる」との声を多数いただいている。オンデマンド型交通が交通弱者にとって安心して移動できる交通手段として認識されているという手ごたえも得ており、安心感を与えることで免許返納に導くことができると考えている。免許返納促進策は、スタート時には準備できなかったが、令和5年度内に何か実施できるよう担当部局と協議中である。病院との連携は難しいが、ご提案いただいた、買い物のクーポン的なものは免許返納者に限らず利用促進策として何か仕掛けを打っていきたい。これは事業者との交渉が必要だが、令和5年度中に開始したいと考えている。目標値の設定、これはご指摘に賛同する。そういった定義づけで、交通弱者に寄り添う指標として確立していきたいと思っている。

5. その他

(1)「坂井市二次交通について」

<坂井市観光交流課>

北陸新幹線の敦賀延伸開業まで残り1年となっている。本市については新幹線の駅はないが、最寄りの駅として福井駅と芦原温泉駅の2駅がある。福井駅からは、市内を縦断する形でえちぜん鉄道が三国港駅まで走っており、えちぜん鉄道は30分に1本三国港行きが出ているという状況、芦原温泉駅からは定期で出ている鉄道がないため、坂井市までは路線バスが主な交通手段となる。

現在あわら市と広域周遊を目的として、二つの事業を実施しているが、いずれも乗車人数が伸びていないこと、公費負担単価が高いことなどから、令和5年度は路線バスを強化する方針に変更したいと考えており、今後関係各所と協議を予定している。

路線バスの強化について、現行は、JR 芦原温泉駅から東尋坊を経由して三国駅へ行く東尋坊線が走っており、平日は1時間に1本、土日祝日は30分に1本ペースである。東尋坊線には坂井市の観光コンテンツとして重要な「芝政ワールド」が停留所に含まれていないため、こちらへは夏休みの期間限定で1時間に1本程度臨時便が走っているというような状況。それを、令和5年度は【芦原温泉駅～あわら湯のまち駅～越前松島水族館～東尋坊～三国駅】、【三国駅～東尋坊】、【芦原温泉駅～芝政ワールド～畜産試験場～越前松島水族館～東尋坊】の3ルートを増便し、平日は、芦原温泉駅から三国駅間で30分毎、土日祝日は東尋坊～三国駅間は15分

毎、4月から11月の土日祝日は芝政経由、非経由でそれぞれ30分毎、芦原温泉駅から三国駅間で実質15分毎の往来を目指し、地元の方のみならず観光客の待ち時間を短縮するような形を目指していきたい。また、芝政行き夏季臨時バス便については、状況を見て、廃止か継続かを検討していく。

<会長>

実施に向けたスケジュールは。

<観光交流課>

現在、福井県及び交通事業者と調整中であり、次回の交通会議で正式なものを提示させていただき、そこで承認いただければ、10月1日から運行したいと考えている。次回の会議までにしっかりと調整を進めていきたい。来年3月の開業に間に合わせるには半年前くらいから本格運用したいというのがこちらの考えである。

<DMO さかい観光局>

交通系 IC カードというのはどのようなになるのか。交通系 IC カードの利用に慣れているお客さんたちが当たり前のようにやって来たときに、おもてなしとして最低限の体制は整えておきたいというのが思いである。

<福井県交通まちづくり課>

路線バスについては、交通系 IC カードの導入を開業に間に合うように事業者と協議を進めているところである。

<会長>

強化した路線の運行は10月からということだが、周知はどのようにしていくのか。

<観光交流課>

観光客の方はもちろんのこと、生活バス路線として市民の方にも乗っていただけるので、市の広報やホームページなどでも周知はしたいと考えている。大事なものは、駅に降りた方がバス時刻表を見るとすぐに来るといった状況を作り、バスを相当時間待つという状況をなくすことだと考えている。周知と体感の2方向でしっかり満足度を上げたい。

6. 閉会